

学校給食費への自治体独自補助

(2023年愛知自治体キャラバンまとめ)

- ①新たに安城市・飛島村が無償化を実施、すでに実施している豊根村と合わせ3市町村(6%)が完全無償化(◎印)。
 ②上記①をはじめ、大府市が中学生無償化など、前年から2市町増の24市町村(44%)がなんらかの補助を実施。
 ③津島市・大口町・東栄町が半額補助。安城市・犬山市・小牧市・岩倉市・扶桑町が第3子以降無償。
 小牧市は第2子中学生も無償。岡崎市は4月分無償。
 ④食材料費高騰分の公費負担は、岡崎市・豊明市で今後も引き続き実施する。

市町村名		学校給食費の市町村独自補助・減免措置	
	実施	実施内容	
	合計	24	
1	名古屋市		
2	豊橋市		
3	岡崎市	○	4月分を無償化。2014年4月の消費税増税分3%を公費負担 2022年から食材料費の高騰分を公費負担、引き続き堅持に努める
4	一宮市		
5	瀬戸市		
6	半田市		
7	春日井市		
8	豊川市		
9	津島市	○	1食あたり15円を公費負担 2023年4月分から保護者の経済的負担軽減を図るため半額補助 ※次年度の継続を確認
10	碧南市	○	1食あたり小学校12.9円、中学校25.4円(給食費以上の賄材料費分)を公費負担
11	刈谷市		
12	豊田市	○	1食あたり15円を補助
13	安城市	◎	2023年9月から小中学校給食費無償化を実施
14	西尾市		
15	蒲郡市		
16	犬山市	○	第3子以降を無償化
17	常滑市		
18	江南市		
19	小牧市	○	第3子以降を無償化 2人以上子どものいる家庭の第2子中学生を無償化
20	稲沢市		
21	新城市		
22	東海市		
23	大府市	○	2024年1月から全中学生を無償化
24	知多市		
25	知立市		
26	尾張旭市		
27	高浜市		
28	岩倉市	○	第3子以降を無償化(義務教育期間にある児童生徒を3人以上養育している世帯)
29	豊明市	○	当面の間1食あたり40円減額、今後も食材料費の高騰分は公費で負担
30	日進市		
31	田原市		
32	愛西市	○	1食あたり10円を補助
33	清須市		
34	北名古屋市		
35	弥富市		
36	みよし市	○	消費税分の一部と、物価高騰の対応として、小学校20円、中学校20円の補助
37	あま市	○	1食あたり10円を公費負担
38	長久手市	○	市負担1食あたり20円+地産地消推進市負担1円(保護者負担額と別途)
39	東郷町	○	2019年10月から1食あたり20円値上げし、その20円分を公費負担 2020年4月から給食費の定額制を導入し実食数計算の給食費と定額制の差額分を公費負担
40	豊山町		
41	大口町	○	半額補助
42	扶桑町	○	第3子以降を無償化(義務教育期間にある児童生徒を3人以上養育している世帯)
43	大治町	○	1月あたり200円を補助
44	蟹江町	○	1食あたり30円を補助
45	飛島村	◎	2023年4月から飛島学園前期課程及び後期課程において給食費の無償化を実施
46	阿久比町		
47	東浦町		
48	南知多町		
49	美浜町	○	2023年9月から第2子半額減免、第3子以降無償化(義務教育期間にある児童生徒を2人以上養育している世帯)
50	武豊町		
51	幸田町		
52	設楽町	○	1食あたり5円を公費負担
53	東栄町	○	半額補助
54	豊根村	◎	無償化を実施